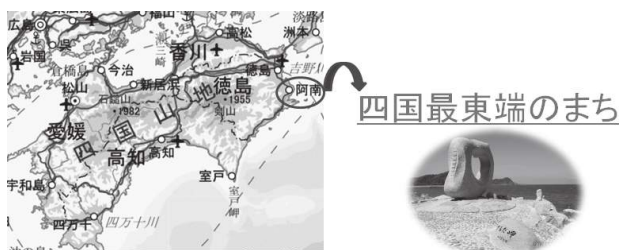


# 「まず、やってみる」阿南市の公共施設 マネジメント

阿南市企画部行革デジタル戦略課

## 1. はじめに

徳島県阿南市は四国最東端のまちで、279.25km<sup>2</sup>の広大な面積を有し、海、山、川に囲まれた、約7万人が暮らす自然豊かな地域です。



本市では、阿南市公共施設等総合管理計画において保有する公共施設の老朽化や、これに伴い更新費用が益々増大していくことが推計されており、このような課題に対処すべく、令和3年度から行革デジタル戦略課公共施設マネジメント係が新設され、公共施設マネジメントを推進していくこととなりました。これからの公共施設のあり方を本市にとって最適なものに導いていくためには、既存施設の再編統合の検討や、利活用などの実践が欠かせません。これらを円滑に進めていくため

に、施設データや関連計画を把握するだけでなく、職員、事業者、施設利用者と現状課題やあるべき理想像を共有することが必要です。しかし、多種多様な市民ニーズや現場の声にどう応えていけば良いのかわからず、頭を悩ませていました。

そのような状況の中、公共施設マネジメントアドバイザーや他自治体の職員の方々による勉強会や講習会などに参加させていただき、保有する施設や資産等をうまく活かしながら、その都度創意工夫して取り組んでいる自治体があることを知りました。中でも、公民連携手法により既存の施設を有効活用している自治体例から「このようなことが公共施設でも可能なのか」と、とても驚かされました。阿南市でも同じように公共施設を有効活用できればまちの新たな魅力になるのではないかと、まちの公共施設のあり方について再考する好機にもなり得るのではないかとポジティブに考えるようになりました。

## 2. 公共施設マネジメント 推進チーム

公民連携による公共施設の有効活用の取組は、他の職員にもきっと魅力的に感じるはずと考え、公共施設マネジメントアドバイザーを招き職員の全体研修会を開催しました。研修会終了後すぐにチームメンバーを募集したところ、多方面から応募をいただき、総勢20名の阿南市公共施設マネジメント推進チームを結成することができました。

このチームでは、公共施設に関する事例や制度を共に学び、各員が取り組みたい内容を自由に発案し、意見交換しています。



### 3. 「まず、やってみる」

公共施設の有効活用については、これまで具体的な公民連携の経験がなく、サウンディングという言葉の意味すらよくわかっていませんでしたが、「まず、やってみる」というチャレンジ精神で取組を開始することにしました。推進チームで協議した結果、平成31年に常総市が実施したトライアル・サウンディング事業や令和2年に竹田市が実施したサウンディングツアーに挑戦することになりました。具体的取組内容や工夫した点などを惜しみなく共有してくださる先進自治体の職員の方々のおかげで、事業イメージを想像することができ、経験のない私たちでも「やってみよう」という気持ちになることができました。また、他自治体の実践例を参考に、自分の自治体の特徴をあてはめて制度設計していくプロセスもとても新鮮で貴重な経験になりました。どの施設をサウンディングの対象にするかについては、チーム各員がアイデアを持ち寄り、多数決の方式で3つの施設に決定しました。具体的には、(1)平成28年度に建築され、約2万㎡の延べ床面積を有する阿南市役所庁舎、(2)約32,000㎡の広大な敷地と、四国最大級の天体望遠鏡を備えた阿南市科学センター、(3)長期にわたり休園中で施設の老朽化が著しいが、海水浴場が目の前という好立地の中林保育所が選定されました。この取組を実施するにあたり、複数の施設所管課に現地案内等の協力依頼を行ったところ、全体研修会によりこのような取組を理解してくれていたことも功を奏し、快諾してくれました。

### 4. サウンディングツアー



阿南市科学センター



中林保育所



阿南市役所

公共施設の活用について  
あなたのアイデアを教えてください。

## 阿南市公共施設 サウンディングツアー

**開催日時**

令和4年1月28日(金)  
12時50分 阿南市科学センター駐車場集合

※現地視察があるため、自家用車にて当ツアーにご参加ください。  
※参加に要する費用は、参加者の負担となります。  
※各自治体対策、コロナ感染症対策を十分ににご参加ください。



<p><b>ツアー予定時間</b></p> <p>13:00~14:00 阿南市科学センター 14:20~15:00 中林保育所 15:20~16:00 阿南市役所</p> <p><b>意見交換会</b> 16:00~ 阿南市役所 303会議室</p>	<p>サウンディングツアーは、公共施設の空きスペースや、遊休施設の有効活用を検討するため、職員と一緒に現地施設を視察した後、公共施設の活用等についての意見交換会を行います。</p> 
--	---

一般定員 10名程度 (先着順にて締切り)  
※ツアー参加は申し込みが必要です!  
申込期限: 令和4年1月27日まで

【ツアー参加申込、各種問合せ先】  
阿南市役所行革デジタル戦略課 公共施設マネジメント係  
電話にてお申込みください。 Tel: 0884-24-8024

#### サウンディングツアーのチラシ



ツアーのようす (科学センター)

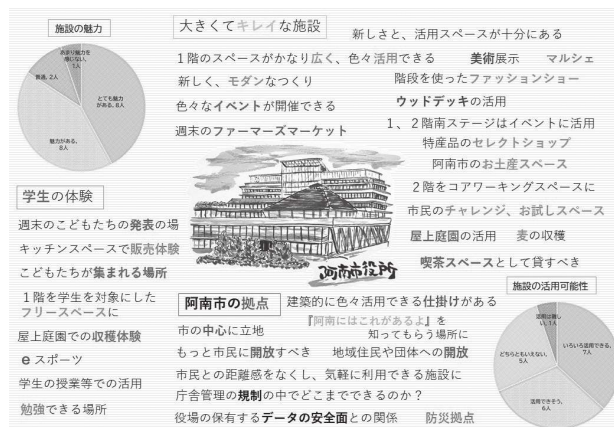
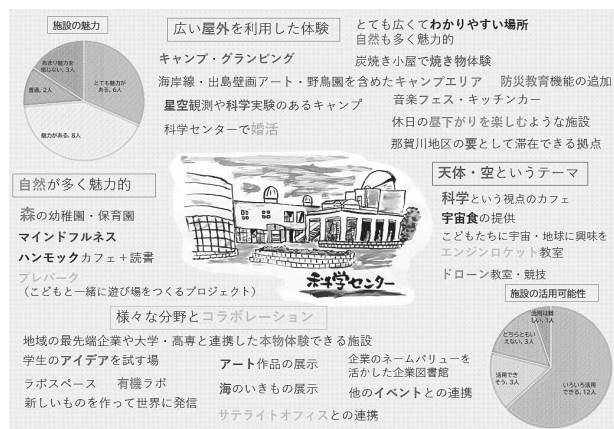


ツアーのようす (市役所)

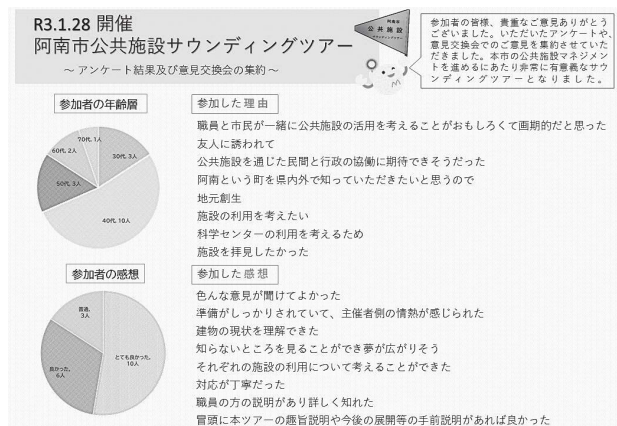
サウンディングツアーは、複数の施設を参加者と一緒に視察し、その後、施設の有効活用方法等について意見交換会を行うといった企画です。そもそも報酬も用意されておらず、平日に開催される、公共施設の意見交換を目的とした調査に参加者が集まってくれるのかと不安でしたが、ありがたいことに募集初日に定員に達することができました。その後、地元メディアや有識者の方からも問合せをいただき、追加でご参加いただくことになりました。ここから、市民や事業者の公共施設や行政サービスに対する関心の高さを知ることができました。視察中に参加者から多くの質問をいただいたり、こんなことがこの施設でできたらおもしろいねと惜しみなくアイデアを提供してくれたり、現状施設の設備不足の課題等も共有することができました。単なる定型文のアンケート調査とは異なり、参加者の意欲や、視点、具体的ニーズまで知ることができ、これがいわゆる「サウンディング」であり、事業者側のリアルな意見なのだ実感することができました。



意見交換会のようす



サウンディングツアーの成果



## 5. トライアル・サウンディング

トライアル・サウンディングでは、事業者からこのようなことをしてみたいという企画相談からはじまります。その際、どのような狙いで実施するのか、どうやって集客や採算性を実現するかなどを意見交換します。そして、実際に実施してみても感じたことなどを伺いながら、実施方法を修正したりします。このような事業者との関わり方は、通常の公共発注業務ではなかった貴重な経験で、1つの事業を成功させるという共通目標のもと、連携して取り組むことができました。

阿南市役所「秋の夜長マルシェ」  
竹灯り装飾のようす

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS  
SDGs  
パネル展

# 阿南市 トライアル・サウンディング

皆さまのアイデアを公共施設で  
「お試し」しませんか？

令和4年 4月11日(月) ▶ 令和5年 3月31日(金)

たくさんの企画提案を  
ありがとうございます。  
ご好評につき実施期間  
を延長いたしました！

**対象施設**

- 市役所庁舎**  
富岡町ノ町12-3  
行政拠点、防災拠点の役割を担った、市の中心施設です。
- 科学センター**  
那賀川町上稲井南川洲9-1  
理科学習、科学普及活動を実施している施設です。
- 中林保育所**  
中林町原23  
平成13年より休所しています。  
※老朽化のための建物は使用できません。

阿南市公式HP 特設サイトHP

募集要項や、施設概要については、右のサイトをご覧ください。詳しくは、下記担当までご相談ください。

【申込・お問い合わせ】阿南市庁デジタル戦略課 ☎ 0884-24-8024 ✉ densan@anan.1-tokushima.jp

## トライアル・サウンディングのチラシ

また、事業者のアイデアの中には、公共施設をこんな風を使うことができるのかと驚かされたことも多くありました。例えば、市役所で実施された「食育体験・収穫体験」では、近年使われていなかった屋上庭園を活用して、こどもたちが農作物を自ら植え、育て、収穫する体験が企画されました。市役所で楽しみながら食について学ぶという機会を多くの子育て世帯に提供できました。



食育体験・収穫体験のようす

「ランチタイムミニコンサート」では、市役所の平日の昼休みを利用して音楽の演奏会が行われました。庁舎の特徴である3階までの吹き抜け構造が活かされ、小さな音楽ホールの演奏会のような時間を提供することができました。



ランチタイムミニコンサートのようす

夕方から夜にかけて開催した「秋の夜長マルシェ」では、魅力的な地元事業者の出店や音楽演奏等もあり、市役所において過去最大規模の集客を実現しました。この広い空間を活用することで交流の場や、学生の貴重な表現の場になりました。



秋の夜長マルシェ

また、事業者ならではの季節にあわせたイベント（ハロウィン、クリスマス、バレンタインデーなど）も多く企画され、こどもたちがコスプレをしたり、クリスマスツリーが飾られたりと、市民に楽しみを提供する空間となり、多くの参加者の笑顔を間近で拝見することができました。



クリスマスツリー×しめ縄ワークショップ

科学センターでは、屋外を利用した「BMX スクール」や「NANA マルシェ」、「サマーナイトフェスティバル」「黄昏月のヨガ」などが実施され、地域の新しい魅力となりました。サマーナイトフェスティバルでは、当施設の過去最大収容人数となる 2,000 人以上を集客することができました。



BMX スクール



NANA マルシェ



サマーナイトフェスティバル



黄昏月のヨガ

このような集客を契機に科学センターの利用を促進し、天体観望会やおもしろ科学実験など施設固有の体験も併せて提供することができました。

## 6. 工夫した点

本市が今回実践した、サウンディングツアーやトライアル・サウンディングなどは、他の自治体が創意工夫して企画提案した取組です。しかし、これをそのままマネしようとしても簡単にはできません。持っている公共施設や、まちの習慣、風土、市民のニーズ等全てが異なるからです。先進事例を参考に、本市の公共施設でどんなことが実現できれば理想的であり、多くの事業者や参加者を集められるのかといったことを思い描きながら、必要な箇所は適宜修正を加えつつ、可能な部分は独自のアイデアを付加しました。事業者と連携して新しいまちの魅力を創出したいという思いを込めた事業だからこそ、多くの共感や評価をいただけたのではないかと思います。新しいことを企画したり、難しいことを考えたりはしていませんが、自分たちでもできそうなことを「まず、やってみ

る」という気持ちで取り組みました。

阿南市トライアル・サウンディング事業を、約1年間にわたり（好評であったため、12月から3か月延長した）実施したところ、64の事業が実施され、226もの事業者に参加していただきました。このように多くの事業を実施できた要因の1つには、取組に対する広報活動の工夫があると思います。いつどのような事業が実施されるか、どのような思いで企画されたか、実際にやってみてどうであったかなどを、特設サイトやSNS（InstagramやLINE）を活用してなるべくリアルタイムに近い広報に務めました。この特設サイトやSNSが

事業者や参加者に対する情報源、相談窓口、アンケート収集の場としても役立ちました。

## 7. サウンディングの効果

市民アンケートなどから、公共施設に関するポジティブな声を多くいただき、中には、市役所への敷居を感じなくなった、公共空間は使い次第でとても素敵になることがわかったといった意見もありました。また、公共施設という広い空間を活用することにより事業者どうしのつながりができたという意見や、地域人材の活躍の場になったという意見などもありました。公民連携の効果の実感や、希望、これからの市政に対する期待を込めたお声までいただき、公共施設がいかにまちにとって重要な空間となり得るかを教えていただきました。

このように、サウンディングから得られた多くの成果や経験を、これからの公共施設マネジメントの推進に活かす必要があります。これも決して難しく考え悩むのではなく、先に実践された魅力的な自治体例を参考に、1つ1つのプロジェクトを事業者と対話しながら、本市であればどのようなかたちで実現できるのか、期待しつつ取り組んでいきたいと思っています。阿南市の公共施設マネジメントはここから新たなスタートの一步です。



公共施設マネジメント特設サイト



公共施設マネジメント Instagram

## 8. 最後に

サウンディングを通じ、公共施設の有効活用の方法だけでなく、公共施設とまちのつながりまで知ることができ、改めて魅力的な手法であると思いました。このような経験がなければ、単に公共施設をハコとしてしか考えることができず、除却を進めるようなマネジメントしかできなかったのではないかと思います。「この公共施設をどう活用できるか？」ということを担当者だけが思い悩むのではなく、職員・事業者・利用者、まち全体で考え、そして可能な限りニーズにあわせて実践するのが良いと思います。そのためには、自分たちでもできそうな事例を「まず、やってみる」ことが重要であり、自らも参加する側の立場を想像しておもしろそうなアイデアを付加していくことができるとなお良いと思います。

サウンディングという手法は、基本的にはコストもかからず、どの自治体でもすぐにできる取組だと思っています。公共施設のあり方についてどう進めていけばよいのかと思い悩んでいるのであれば、サウンディングを実践することをおすすめします。そこには必ず、何か自分の得意なことを表現したい事業者やそれに参加し応援したい住民の方がいらっしゃると思います。決して都会ではない、四国最東端のまち阿南市では、多くの方にご参加いただき、今まで見たことない理想的な風景を公共施設で描くことができ、公共施設のあり方を再考することができました。このような取組を公共施設でこれからも継続して進めて欲しいという要望もたくさんいただきました。ここから学んだこと、教わったことは、本市の大きな経験、財産となり、これからの公共施設マネジメントを

進めていく基礎になっていくものだと確信しています。



サウンディングを通じて教わったこと